

JOSS2024 国立国会図書館主催セッションに寄せられた質問・回答と感想

Q1. 大学のアーカイブとジャパンサーチで同一のアイテムにおいてもメタデータが違うということでしょうか。

違うとすると、どんな点で違っていたでしょうか。

A1. (京都大学総合博物館・齋藤氏) 混乱を避けるため、基本的には一緒にしようという方針です。

ただ、ジャパンサーチにアクセスするメリットをユーザに感じてほしいと考えたため、研究メモ 100 件分について、日・英の資料解説データを特典的に付けています。

Q2. ジャパンサーチから Wikidata への情報提供には大変興味があります。

その具体的な内容がわかる資料はあるでしょうか。

A2. (NDL ジャパンサーチ担当) Wikidata に対しては、ジャパンサーチの LOD で正規化した URI と Wikidata の QID との対応関係を提供しています。

簡単なものですが、こちらの報告をご参照ください。

https://doi.org/10.24506/jsda.6.s2_s82

(※セッション後補足)

なお、2022 年に当館による組織的な登録を開始する前の 2019 年に、有志によって「ジャパンサーチ名称識別子 (P6698)」が作成されています。

Q3. 世界と連携といえ、DOI や ARK でメタデータを流すというのは検討されていますでしょうか。

A3. (NDL ジャパンサーチ担当) 連携元のデータに識別子が付与されている場合は、ジャパンサーチに取り込んで、流通するようにしています。

ジャパンサーチ側での識別子付与は行っていません。

Q4. ジャパンサーチのプロジェクトで、ジャパンサーチの外にある画像 (海外の DB にあったりするもの) を取り込むことは可能でしょうか？

A4. (NDL ジャパンサーチ担当) 可能です。海外の DB にあるアイテムをリンクで表示することができます。

画像をアップロードする際は、先方の二次利用条件にご注意ください。

例として、Europeana と Digital NZ の協力を得て作成した次のギャラリーがあります。

「自然」 <https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-qWNqbdO3mbA>

Q5. (※ セッション終了後、アンケート経由で寄せられたご質問)

ジャパンサーチのギャラリー機能を使ってコンテンツを収集、掲載したとき、利用（収集掲載）されたことはコンテンツ所蔵館に通知がくるのか？

A5. (NDL ジャパンサーチ担当) 現時点で、利用を通知する機能はありません。

なお、ギャラリー作成者がコンテンツを掲載する場合は、二次利用条件に留意するようお願いしています。

感想

- 総じて、統制されたメタデータよりも流通しているメタデータの方が、発見可能性という意味では有利なのかな、という印象を持ちました。
- 海外での授業で、ジャパンサーチのプロジェクトを使ってみたいと思いました。
ありがとうございます！